

2020年 高校生 井戸端会議 実施計画

2020年5月6日更新
NPO 法人 スプラタルカ

趣 旨

本会議を通して、参加国の高校生が相互に自由に意見を交換し、また、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解を目指す。同時に、県内の高校生が世界へ目を向け活躍する人材育成の機会とする。

特に、新型コロナウイルスの影響下にある暮らしがどのようなものか、お互いに情報交換する価値は大きい。

高校生 井戸端会議 概要

1. 会議の運営

主催：NPO 法人 スプラタルカ

2. 開催期日

2020年5月17日（日曜日）

日 本	10:30 – 12:00
マレーシア	9:30 – 11:00
タ イ	8:30 – 10:00

3. 会議参加者（3カ国） * 各国の有志5名 * 高校生相当

- ① 日本（沖縄）： 県内在住高校生
- ② マレーシア（ペナン）： Batu Kawan Secondary School 生徒
- ③ タイ（ランパン）： Assumption College Lampang 生徒
- ④ 通訳（各国）、司会、見学者（若干名）

4. 会議内容

テーマ：「今の暮らしの様子を教えて」

“How Is Your Life Under This Situation?”

5. 会場

日本：各家庭

マレーシア：各家庭

タイ：各家庭

6. 会議形式

- ビデオ通話 (Zoom) を使った 同時中継方式。
- 各家庭 から、ビデオ通話を使って 個人単位 で参加する。
- 参加するための端末は、特に限定しない。

7. 会議の目的

新型コロナウイルスの脅威は世界中に広がっている。その結果、各国で学校の休校などが続いており、各家庭での暮らしも一変している。

そのような状況で、世界の子供たちが情報を共有し、意見交換する価値は大きい。

さらに、このような活動を通して、各国でのリーダーの育成を促す。

高校生井戸端会議のプログラム構成

* 日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	10:30-10:31 (1分)	あいさつ <全員>	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。*各国のあいさつを一緒に行う。 ● 国単位であいさつする。
	10:32-10:33 (1分)	司会者のあいさつ <会議ホスト>	司会者が、会議開催のあいさつを行う。
自己紹介	10:35-10:40 (5分)	各自の自己紹介 (日本、マレーシア、タイの順) <全員>	各参加者が自己紹介を行う。 ● 先に、通訳を兼ねる教師 (スタッフ) が自己紹介する。 ● その後、その国の参加者が自己紹介する。
お互いの暮らしぶりの紹介	10:40-11:25 (45分)	「今の暮らし」 についての意見交換 <個人単位> * 会議の展開によっては、延長あり	各自の今の暮らしぶりを紹介する。 ● 特に詳細なテーマは設けない。 ● <u>新型コロナウイルスの脅威にさらされている「今」</u> をお互いに紹介しあう。 ● 紹介しあう中で、お互いに質問などを通して、文化や価値観などについて、より深い理解を進める。 ● 発表者は英語で発表してもよいし、自国語で発表してもよい。(スタッフが通訳する。) ● 通訳は、同時進行が出来ないので、 <u>順番に通訳</u> する。(日本語、中国語、マ

			レーシア語)
さつ の終 あわ いり	11:25-11:26 (1分)	国際会議終了のあいさつ <司会者>	国際会議終了のあいさつ。 ● 司会があいさつする。 * ビデオ通話そのまま
	11:26-11:29 (3分)	休憩	3分間の休憩 (トイレ休憩)
全体の まとめ	11:30-12:00 (30分)	本会議のまとめ 感想の発表とワークシート記入 <全員>	そのまま、 <u>参加者全員</u> でまとめを行う。 ● 各自、ワークシートに感想や意見をまとめる。 ● 自分の感想を各自発表する。 ● その他の参加者も感想を述べる。
	12:00-12:02 (2分)	会議終了のあいさつ <司会者><全員>	会議終了 全員でお別れのあいさつ

事前準備

1. コロナウィルスの脅威のもと、各自が、自分の周りの様子を発表できるように内容をまとめておく。(各自宿題)
 - 家庭の様子
 - 学校の様子
 - 地域の様子
2. 必要であれば、様子を紹介するための資料を作成する。(各自)
 - 必要であれば写真や図を用意する。
3. 通訳の流れを確認しておく (各国担当者)
 - 全員が一覧に映っているので、同時に通訳が出来ない。そのための流れを確認しておく。

交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。 (悪い例:「それは間違い!」「それはおかしい!」)

意思疎通の流れ

1. 原則、お互いの母語で会議を進め、通訳を介して意思疎通を図る。
2. 出来れば、自分の意見を英語で準備する。
3. 意思疎通の流れは以下の通り。

「発表者 (母語)」 → 「通訳 (英語)」 →

→ <インターネット>

→ 「通訳 (言語 1)」 → 「相手生徒」 (言語 1)

→ 「通訳 (言語 2)」 → 「相手生徒」 (言語 2)

「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→

→<インターネット>

→「通訳（言語 1）」→「相手生徒」（言語 1）

→「通訳（言語 2）」→「相手生徒」（言語 2）

補 足

1. 参加者は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

会議開催までの日程

1. 4月30日（木）～5月9日（土） 参加者 募集期間（募集範囲：沖縄全域）
*参加希望者は、事前に端末やインターネット環境を知らせる。
2. 5月3日（日）10:00 – 11:30 実行委員会（各家庭からビデオ通話による会議）
募集状況の確認、事前準備の確認、など
*ボランティアスタッフを含む。
3. 5月10日（日）10:00 – 11:00 事前研修（各家庭からビデオ通話による研修）
（Zoom の操作研修、資料作成、発表練習）
4. **5月17日（日）10:30 – 12:00 本会議開催**（各家庭からビデオ通話による参加）
*11:30 – 12:00 は、日本側だけで接続し、まとめを行う。
*最大 12:30 までの延長を考慮する。

問い合わせ先

特定非営利活動法人 スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369 代表：本田勝也

info@supratarka.org

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

Supratarka

